

「千曲市新庁舎及び新更埴体育館等建設基本計画（案）」に対する意見募集結果

○提案者数 5名

○提案件数 11件

—貴重なご意見ありがとうございました—

○提出された意見の内容及びそれに対する市の考え方は次のとおりです。

No.	意見の内容（要旨）	意見に対する市の考え方
1	<p>1. 岩手県紫波町のオガールプロジェクトを参考に、コンセプトを明確にして人が継続して集まる仕組みを考えていただきたい。</p> <p>2. 新体育館については市外・県外からの合宿等の利用者を大事にした計画としていただきたい。建て替えにあたり、県外の利用実績がある方への案内・意見聴取を実施する等が考えられます。</p>	<p>1. ご意見として承ります。</p> <p>2. 今後、計画を進める中で合宿のみならず、地域利用者やイベント等の利用者、また体育館を利用されない方々など、幅広い意見に配慮し検討していきます。</p>
2	<p>1. 建設地近くの千曲川（杭瀬下）は大雨による水位の上昇を幾度も経験しています。防災拠点としての市庁舎の機能が十分発揮できるよう、防災対策が必要だと思えます。</p> <p>2. 民間の企業では、各部署間のコミュニケーションを円滑にするため、机の配置など配慮しています。これからの行政に求められる役割の中には、担当部署だけでは対応できない複合的な課題が多々出てくるのではないかと思います。それぞれの部署間のコミュニケーションが活発に行われるようなシステムが必要だと思えます。</p> <p>3. 庁舎の構造種別について、解体時のコストも比較項目に入れた方が良くと思えます。森林県の市庁舎として、木造も検討して頂きたいと思えます。</p> <p>4. 新体育館について、十分な検討がされたのか疑問です。庁舎建設については市民への周知に努められたと思えますが、体育館については、地域体育館として、現在の倍の 6,200 m²、観客席 2,000 席の体育館が千曲市に必要なのでしょうか。大きな体育館は長野市等の隣接市の施設を広域的に活用すればよろしいのではないかと。または、スポーツ施設の整っている戸倉の体育館を充実させるのが得策ではないかと。費用対効果を慎重に検討してもらいたい。</p> <p>5. 更埴庁舎、更埴体育館、勤労青少年ホームは早稲田大学の故吉阪隆正氏の研究室の設計です。千曲市の中の現代建築では貴重な建物です。今後保存、活用に向けて配慮して頂きたいと思えます。</p>	<p>1. 大雨による浸水対策はもとより、災害発生時は、市役所に災害対策本部が設置されるため、市役所本体の機能が失われてはなりません。地震・浸水・土砂災害等総合的に判断し、安全性に優れた庁舎を計画します。</p> <p>2. 新庁舎は多様化する市民ニーズや時代に対応した機能的な庁舎としなければなりません。様々な課題に対応できるよう、市民と職員や職員間のコミュニケーションを大切にしたい窓口空間や執務空間を計画します。</p> <p>3. ご意見として承ります。</p> <p>4. 現在の体育館は地域体育館として、また合宿等の利用などで利用率が非常に高い状況です。新庁舎建設を契機に老朽化した体育館も一体的に整備するわけですが、機能や規模、建設費等については、市全体の体育施設の状況や、費用対効果を重視し計画します。</p> <p>5. ご意見として承ります。</p>
3	<p>1. 新庁舎・新更埴体育館が一体のものとして建設され、共用できるものは共用することにより、両施設の機能が発揮できると考えます。</p> <p>・エントランスや交流スペース、トイレや会議</p>	<p>1. 新庁舎と新体育館が連携し、設備や機能の一部を共有化することは、空間の有効利用が図れます。しかし同時に、市役所は市民の個人情報や管理していることから、セキュリテ</p>

	<p>室を共用する。</p> <p>2. 市民が使いやすい体育館にしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 固定観客席を廃止し可動観客席にすることでフロアサイズの拡大を図る。 拡大したフロアにバスケットコート 3 面、ハンドボールコート 2 面を配置する。 バドミントンコートができるだけ多く配置し、3 分割して使用できるようにする。 	<p>イ対策に万全を期さなければなりません。共有化についてはこれらを総合的に考えていく必要があります。</p> <p>2. 新体育館のアリーナや観客席などの基本的な機能は基本計画を基に検討を行う必要があります。今後、市全体の体育施設の状況や新体育館の利用予測、果たす役割や建設費用・費用対効果を十分に勘案し、適切な規模の新体育館を検討します。</p>
4	<p>新庁舎及び新更埴体育館の計画では、新庁舎は中高層建て、新体育館は現在の 1.7 倍と伺っております。ある、証券会社の千曲市の人口増減予想では、現在 60,000 人強の人口が 2040 年度で 50,000 人を切ると予想されています。将来の少子高齢化を考えると、大規模な施設は子供達に余分な負担をかけるだけです。ある団体では新体育館の収容人員を 4,000 人規模と要望しているとお聞きしていますが、人口比率に合わない施設と考えます。将来の人口減を考慮し両施設の面積・建設費用及び維持管理費を考慮しないとイケないと考えます。現在だけを考えては駄目だと思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p>基本計画では、新庁舎及び新更埴体育館の想定規模や概算事業費を算定しましたが、今後設計段階で詳細な検討を行うことで面積等は変動する可能性があります。特に今後、東京オリンピック関連施設の整備や東日本大震災復興事業の本格化などで、建設工事の高騰が予想されることから、両施設とも市が求める機能や品質を確保しながら、費用対効果・維持管理経費等を考慮し、コスト削減の可能性について調査検討してまいります。将来の世代に負担を残さぬよう、今後の財政見通しや市民ニーズ等を考慮しながらシンプルで効率的な施設を計画します。</p>
5	<p>現在、日本バスケットボールの統合問題が起こっています。その中で、トップリーグの条件として、収容人数の 5,000 人という案が浮上しています。現状、ウォリアーズの集客数は平均 2000 人も満たない中で、5,000 人入るアリーナは不要とは思いますが、この先、5,000 人という条件が成立した場合、千曲市に条件を満たすアリーナが無ければ、ウォリアーズは、ホームタウンを離れざるを得ない状況になると思われまます。庁舎と合わせて今やるしかないと思われまます。魅力あるアリーナができることによって、各種イベントを企画することができ、市外から多くの集客が見込まれると思われまます。今一度、集客数の検討をお願い致します。庁舎もアリーナも歴史に残る素晴らしいものが出来上がることを期待しております。</p>	<p>新体育館に求められる機能は多様化しており、スポーツを通じたまちづくりや観光振興・各種イベントなどの視点から、多目的に利用できる施設を検討する必要があります。また、新庁舎と一体的に建設することにより、災害時の拠点施設・避難施設としての機能向上が期待されています。今後、市全体の体育施設の果たす役割や新体育館の建設費用・費用対効果や維持管理経費などを考慮し、基本計画を基に魅力ある施設となるよう検討します。</p>